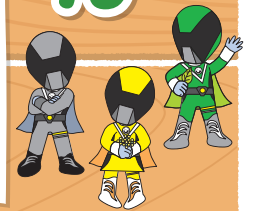
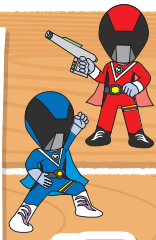


環境けいじばん

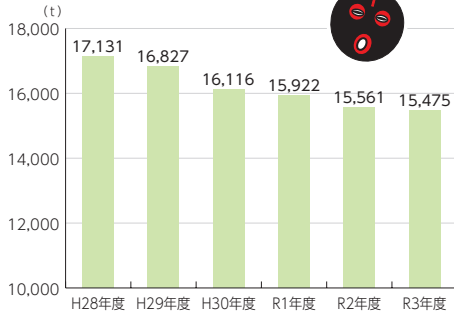


令和3年度のごみ量報告 さらにごみを減らそう！

皆さんのごみの減量・分別に対するご理解とご協力のおかげで、炭生館に運ばれるもやせるごみの量が減ってきています。皆さんのご協力に感謝いたします。

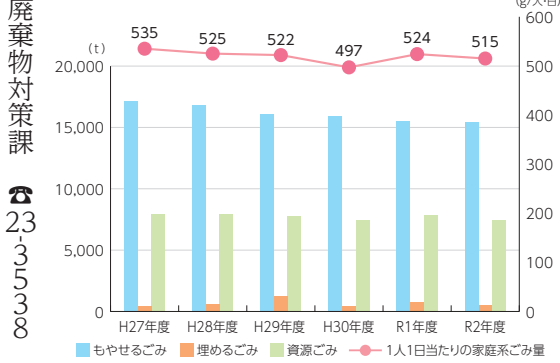
これからもごみの減量をよろしくごみん。

●炭生館ごみ量(年度別)



分別していただいた資源ごみは売却し、令和3年度は約5700万円が本市の収入になっています。売却収入は、ごみ収集

▼廃棄物対策課 ●1人1日あたりのごみ量とごみ総排出量の推移

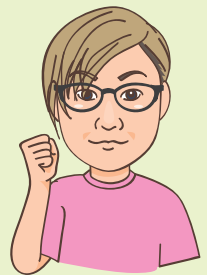


23-3538

などの費用に活用しています。令和3年度の1人1日当たりの家庭系ごみの量(資源ごみ類除く)は515gでした。昨年度と比べ、わずかではありますが減少傾向にあります。マイバッグやマイボトル(水筒)の利用もごみの削減につながります。ちよっとした工夫でごみを削減していきましょう！

TAHA LIFE! たはらライフ! —たはら暮らしをレポート—

◇◇ 広報サポーターの



中釜 明彦

◆**僕の防災対策**
近年のアウトドアブームでキャンプを始める人が増えています。僕もキャンプが大好きです！キャンプは自然の中で過ごす楽しさだけでなく、屋外で生活する知識やスキルが身につきます。僕は、災害時に電気やガスなどのライフラインが使用できなくなった時の防災訓練にもなると考え、楽しみながらテントの設営やランタンなどのキャンプ用品の使い方を実践しています。

◆**ひでくんの防災知恵袋**
中釜さんの言うとおり、キャンプ用品は、災害時にも役立ちます。いざという時、さっと使えるように、日頃からキャンプで使い方に慣れておくことと安心ですね。キャンプの準備のついでに、自宅の備蓄品の点検をしておくのもいいですね！

◆**ひでくんの防災知恵袋**
ちよっとした工夫と家にあるものでランタンが作れます。用意するものは、懐中電灯とペットボトル。光が広がり、火を使わないので安全です。



▲水を入れたペットボトルを懐中電灯の上にのせる

僕はマッチやライターがないことを想定して火おこしに挑戦したことがあります。難しかったですが、火が付いた時は嬉しかったです。ないものがあるもので代用するノウハウの習得や工夫の積み重ねも大事だと思いました。これも、防災対策に共通することだと思いました。

災害は起こらないで暮らせることが一番よいですが、災害がいつ起きても対応できるように普段の生活から準備と心構えが大切です。皆さんは備えをしていますか？
広報秘書課 ☎22-0138
防災対策課 ☎23-3548